

③ 令和2年度における教員の活動

[機構長]

職位	氏名	専門分野	本務所属
機構長	栗原 和美	電工工学・電気機器工学	全学教育機構・特任教授/副学長・学野長

[評議員・副機構長]

職名	氏名	専門分野	本務所属
評議員	安 龍洙	日本語教育	全学教育機構・教授
副機構長 総合教育企画部門長	西川 陽子	食品科学, 科学教育, 食生活学	教育学部・教授
副機構長 共通教育部門長	篠嶋 妥	金属物性	理工学研究科(工学野) 物質科学工学領域・教授
副機構長 学生支援部門長	青柳 直子	生理学, 応用健康科学	教育学部・教授 学長特別補佐(学生支援)
副機構長 国際教育部門長	池田 庸子	日本語教育	全学教育機構・教授 学長特別補佐(グローバル展開)
副機構長 学務部長	向後 光典	事務統括	事務局学務部

○ 総合教育企画部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	鳶田 敏行	教育学(高等教育)	56

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	宮崎 章夫	各学部との連絡調整, 学部内での教育改善施策の立案や実施	人文社会科学部 人間文化学科
教授	吉野 聡		教育学部 学校教育教員養成課程
教授	北出 理		理工学研究科(理学野) 生物科学領域
教授	横木 裕宗		理工学研究科(工学野) 都市システム工学領域
教授	白岩 雅和		農学部 食生命科学科

○ 共通教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	金光男	東アジア国際関係史, 地域研究	—
教授	木村 競	哲学・倫理学	—
教授	小林 邦彦	外国語教育	60
教授	福田 浩子	外国語コミュニケーション, 応用言語学, 異文化コミュニケーション	—
准教授	上田 敦子	外国語教育	62
准教授	菊池 武	外国語教育	64
准教授	小西 康文	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	66
准教授	佐藤 伸也	情報学基礎理論, 計算機システム, ソフトウェア	68
准教授	清水 恵美子	近代美術史 文学一般(比較文学比較文化) 日本史(近現代史)	70
准教授	シャノン フレデリック	応用言語学	72
准教授	シュミット ロナルド	English language pedagogy	74
准教授	関 友作	教育工学 認知科学	76
准教授	山崎 大	天文学, 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	77
講師	大津 理香	英語教育	79
講師	大森 真	英語教育	80
講師	佐々木 友美	外国語教育	82
講師	鈴木 聡子	外国語教育	83
講師	館 深雪	言語教育 英語教育 TESL	85
助教	大山 廉	外国語教育	87

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
准教授	神田 大吾	多文化理解部会: 初修外国語	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	横溝 環	多文化理解部会: 異文化コミュニケーション	人文社会科学部 現代社会学科
教授	伊藤 聡	多文化理解部会: ヒューマニティーズ*	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	陶山 二郎	社会と生活部会	人文社会科学部 法律経済学科
教授	岡崎 正男	グローバル英語プログラム部会	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	篠田 明音	心と体の健康部会	教育学部 保健体育教室

教授	谷川 佳幸	多文化理解部会:パフォーマンス&アート	教育学部 音楽教育教室
准教授	中野 岳仁	自然・環境・科学部会	理工学研究科(理学野) 物理学領域
教授	青野 友祐	自然・環境・科学部会	理工学研究科(工学野) 電気電子システム工学領域
准教授	鈴木 穂高	自然・環境・科学部会	農学部 食生命科学科
准教授	坂上 伸生	AIMSプログラム部会長	農学部 食生命科学科
講師	桐原 武文	地域志向教育プログラム部会	社会連携センター

○ 学生支援部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	小磯 重隆	社会法学(労働法) 社会学(職業能力開発) 教育社会学 (キャリア教育)	89
准教授	矢嶋 敬紘	社会福祉学, 臨床心理学	91

○ 国際教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	安 龍洙	日本語教育	93
教授	池田 庸子	日本語教育	95
教授	八若 壽美子	日本語教育	97
准教授	瀬尾 匡輝	日本語教育 外国語教育 教育社会学	99
講師	青木 香代子	教育学	104

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	村上 雄太郎	各学部との連絡調整, 学部内での国際教育施策の立案や実施	理工学研究科(工学野) 数理・応用科学領域
教授	湊 淳		理工学研究科(工学野) 数理・応用科学領域
准教授	坂上 伸生		農学部 食生命科学科

総合教育企画部門	氏名 寫田 敏行
----------	----------

職名	准教授
学位	修士(理学)[金沢大学]
学歴	金沢大学大学院 自然科学研究科 地球環境科学専攻 博士後期課程[2003年03月単位取得満期退学] 金沢大学大学院 自然科学研究科 生命・地球学専攻 博士前期課程[1999年03月修了] 金沢大学 理学部 地学科[1997年03月卒業]
職歴	茨城大学 IT 基盤センター 教育 IT 化推進部門(兼務)(2018年5月～) 茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門 准教授(2016年8月～) 茨城大学 大学戦略・IR室 准教授(2015年4月～2016年7月) 茨城大学 大学戦略・IR室 助教(2014年10月～2015年3月) 茨城大学 評価室助教(2007年4月～2014年9月) 茨城大学 IT 基盤センター IT システム運用部門(兼務)(2005年7月～2018年4月) 茨城大学 評価室助手(2005年3月～2007年3月) 茨城大学 学術企画部 企画課 大学改革係(2004年4月～2005年2月) 茨城大学 水戸事業場衛生管理者(2004年4月～) 茨城大学 総務部 総務課 大学改革推進室 大学改革推進係(総務部地域連携推進室勤務)(2003年4月～2004年3月) 防災科学技術研究所非常勤職員(文部科学省研究開発局防災科学技術推進室勤務)(2002年7月～2002年8月)
所属学会	日本地形学連合 大学評価コンソーシアム 日本高等教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	IT 基盤センター・教育 IT 化推進部門
専門分野	教育学(高等教育)
教育研究概要	大学運営支援のための情報収集, 分析, 活用的高度化を図るための機能(IR)を活用した継続的な教育改善の仕組み(内部質保証システム)構築の実践的研究を進めている。 (キーワード)大学評価 教学マネジメント

令和2年度における教育活動

担当科目	なし
学生支援・国際交流支援・特記事項	新入生調査, 2年生調査, 学生生活実態調査などの調査を担当している。

## 令和2年度における研究活動

### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]大川一毅, 大野賢一, 畠田敏行「大学教育講演会の現況と大学評価の可能性」, アルテスリベラレス(岩手大学人文社会科学部紀要), 107, 305-325. (2020年12月)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり・筆頭著者, 責任著者】]畠田敏行「教育の内部質保証を推進するためのチェックリストー茨城大学における大学教育再生加速プログラムの取り組みからー」, 情報誌『大学評価とIR』(大学評価コンソーシアム), 11, 49-63. (2020年12月)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]大瀧保広, 畠田敏行, 山本一幸, 野口宏, 佐藤伸也, 外岡秀行, 羽瀧裕真「茨城大学における遠隔授業／テレワーク支援」, 学術情報処理研究(国立大学法人 情報系センター協議会), 24, 1, 58-67. (2020年12月)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]山本一幸, 大瀧保広, 佐藤伸也, 畠田敏行, 野口宏, 羽瀧裕真, 外岡秀行「問合せデータの分散表現を用いた分類」, 学術情報処理研究(国立大学法人 情報系センター協議会), 24, 1, 68-77. (2020年12月)
5. [その他・編集責任者]畠田敏行ほか「情報誌『大学評価とIR』第11号」64ページ, 大学評価コンソーシアム暫定編集部. (2020年12月)

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)]畠田敏行, 林隆之「内部質保証体制構築における理想と現実の差異に関する分析」日本高等教育学会第23回大会. (要旨集公表のみ)
2. [口頭発表(一般)]畠田敏行, 長谷部徳子, 落谷伸也「プログラム評価を活用した複合領域における研究マネジメント手法の実証的研究」金沢大学環日本海域環境研究センター2020年度共同利用研究成果報告会. (2021年3月)
3. [口頭発表(一般)]畠田敏行, 山本一幸「新型コロナウイルス感染症の影響把握のためのIR活動を振り返って」継続的改善のためのIR/IEセミナー2021 R1:IR実務担当者セッション(大学評価コンソーシアム). (2021年3月)

### ○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 科学研究費補助金 基盤研究(C) 19K02855「大学教育後援会の事業と成果を指標として実施する大学評価の可能性をめぐる実証的研究」岩手大学(2019年度～2021年度)【分担】
2. 科学研究費補助金 基盤研究(C) 18K02706「大学の数量的な「共通知」から分析マインドを涵養する人材育成プラットフォームの開発」鳥取大学(2018年度～2020年度)【分担】
3. 科学研究費補助金 基盤研究(C) 18K02729「教学マネジメントを支援する大学の専門的職員のあり方に関する研究」九州大学(2018年度～2020年度)【分担】

### ○ 学術貢献活動

1. 大学評価コンソーシアム: 大学評価・IR担当者集会2020(全体調整) [E1]大学評価・質保証セッション(企画・運営, 司会進行), [E2/E3]評価初心者セッション(企画・運営, ファシリテーター)[オンライン]. (2020年9～11月)
2. 茨城大学: 大学教育シンポジウム「オンライン授業の経験と知見を教育改革に活かすために」(企画・運営, 話題提供「茨城大学の遠隔授業の知見から教育改革を展望する」)[オンライン]. (2021年11月)

3. サイオテクノロジー株式会社:Discussion【文教領域 DX 化の現状と今後の展望】～大学オンライン授業に関する調査報告・討論会（パネリスト）[オンライン]. (2021 年 12 月)
4. 大学評価コンソーシアム:継続的改善のための IR/IE セミナー2021(全体調整), R2:IR 担当者の知識, スキルに関するセッション(企画・運営, 司会進行), E1:第4期中期目標・中期計画に関する情報交換セッション(企画・運営, ファシリテーター), E2:ロジックモデル&指標策定演習[国立大学計画立案担当者編](企画・運営, 司会進行, 教材提供, ファシリテーター)[オンライン]. (2021 年 2 月～3 月)
5. 株式会社朝日ネット:教育の質保証・質向上オンラインセミナー ～After コロナを見据えて今大学ができること～ 第4回パネルディスカッション(パネリスト). (2021 年 3 月)

## 令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

### ○ 学外委員等

1. 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構「大学機関別認証評価委員会内部質保証専門部会」専門委員
2. 国立大学法人埼玉大学 教育・研究等評価センター アドバイザー

### ○ 学外教育

1. 寫田敏行「なぜエンrollment・マネジメントを行うのか？」鳥取大学エンrollment・マネジメントに係る講演会. (2020 年 7 月)
2. 寫田敏行「なぜ教育改善が必要なのか学修成果の測定するのか」亜細亜大学令和2年度第2回全学 FD・SD 研修会. (2020 年 8 月)
3. 寫田敏行「茨城大学の遠隔授業から見てきた授業の質を高めるいくつかの方法」第22回 山形大学基盤教育ワークショップ. (2020 年 9 月)
4. 寫田敏行「計画を立てる, 測る –ロジックモデルと指標による計画立案と進行管理–」埼玉大学 FD/SD 研修会. (2020 年 10 月)
5. 寫田敏行「遠隔授業をきっかけにした授業改善・教育改善」会津大学短期大学部 FD 研修会. (2020 年 11 月)
6. 寫田敏行「教育の内部質保証・質向上のために IR ができること」教育の質保証・質向上オンラインセミナー ～After コロナを見据えて今大学ができること～(株式会社朝日ネット). (2020 年 11 月)
7. 寫田敏行「教育の内部質保証のために実際にやるべきこと」埼玉大学 FD/SD 研修会. (2020 年 10 月)
8. 寫田敏行「実務担当者の分析事例(演習)」IRer養成講座(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室, 名古屋大学高等教育研究センター). (2020 年 12 月)
9. 寫田敏行「大学評価で何が変わったのか –内部質保証の理想と現実とは–」大学改革支援・学位授与機構 研究開発部研究会(第10回). (2021 年 1 月)

## 令和2年度における大学運営・機構運営業務

### ○ 委員会業務

1. 水戸事業場安全衛生委員会 委員[水戸事業場衛生管理者]
2. 教育改革推進委員会(事務局)

3. 総合教育企画部門会議 専任教員
4. 情報委員会 委員
5. 情報環境委員
6. 教員評価 WG 委員
7. 年俸制教員評価委員
8. 遠隔授業 TF 委員
9. 教務情報ポータル運用副委員長
10. 全学教育機構学術委員会 委員
11. 全学教育機構点検評価委員会 委員

○ 機構の業務等

1. 教育の内部質保証体制の運営支援（データ提供等）
2. 教務情報システムの運用支援，遠隔授業の実施支援等

共通教育部門	氏名 小林 邦彦
--------	----------

職名	教授
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	茨城大学大学院 教育学研究科教科教育専攻 英語教育専修[1994年3月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 教授(2019年4月～) 茨城大学 全学教育機構 准教授(2016年4月～2019年3月) 茨城大学 人文学部 准教授(2004年4月～2016年3月) 国立茨城工業高等専門学校 人文科学科 助教授(1998年4月～2004年3月)
所属学会	全国語学教育学会 全国英語教育学会 大学英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	異文化間コミュニケーション理論を外国語教育の入門期から体系的に導入するための「異文化間コミュニケーション・シラバス」の設計及び教授法の研究。心理言語学的プロセスを価値哲学、論理学、様相論理学、発話行為理論から解明する。第二言語習得理論、コミュニカティブ・アプローチを機軸とした動機付け理論、タスク理論、及び学習ストラテジーに関する認知学習理論の研究。 (キーワード)「異文化間コミュニケーション」「コミュニカティブ・アプローチ」「第二言語習得理論」「動機付け理論」「タスク理論」「学習ストラテジー」「認知学習理論」「アウトプット理論」

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English I A【前期】, Integrated English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English I B【後期】, Integrated English II B【後期】, TOEIC & TOEFL【3Q】, TOEIC & TOEFL【4Q】
------	--

#### 令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]Kunihiko Kobayashi“A Suprasegmental Approach - Pedagogical Application to TEFL in Japan -”, (Institute for Liberal Arts Education, Ibaraki University), 4, 55-64. (2021年03月)</p>
--

#### 令和2年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 入試関係業務</p> <p>2. 英語教育検討タスクフォース</p> <p>○ 機構の業務等</p> <p>1. Practical English Advanced English I コースコーディネーター</p>
--



2. PE 部会長 補佐
3. 人事委員会 委員
4. 入試関係業務主任委員
5. 全学教育機構 点検評価委員会 委員
6. 共通教育部門 部門長補佐
7. GEP 専門部会 部会長

共通教育部門	氏名 上田 敦子
--------	----------

職名	准教授
学位	修士（国際コミュニケーション） [青山学院大学]
学歴	青山学院大学 文学部 英米文学科 [1985年卒業] 青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 国際コミュニケーション 修士課程 [2001年修了]
職歴	(株) 公文教育研究会 (1985年04月～1997年03月)
所属学会	アジア英語教育学会 全国語学教育学会
受賞歴	茨城大学推奨授業「平成15年度英語Ⅰ」 (2005年03月)
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	外国語教育現場での多読多聴活動，生涯学習としての多読多聴，学習不安，曖昧さに対する寛容性を意識したフルーエンシー重視の外国語学習
	(キーワード) 多読 multiple intelligences 多聴 (シャドーイング)，曖昧さに対する寛容性，学習不安

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目) Integrated English ⅡA【前期】，Advanced English ⅡA【前期】，Integrated English ⅡA【前期】，Advanced English ⅡA【前期】，Integrated English ⅡB【後期】，Advanced English ⅡB【後期】，Integrated English ⅡB【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	iOP チュートリアル「社会人の英語学習サポート」 学生サークル「マジックサークル アンビシャス」，「SWAG」顧問

#### 令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	[研究論文 (大学，研究機関紀要) 共著【査読なし】] 「共通シラバス英語科目に於ける質保証と学修支援への取り組み(2)：英語プレゼンテーションに於ける「流暢さ」と「発音，韻律」の評価に関するルーブリックの提示と学修者の意識への影響」全学教育機構論集大学教育研究第4号，1-19. (2021年03月)
----------	---

〔教育実践報告（大学，研究機関紀要）共著【査読なし】〕「統一シラバス科目における Pleasure Reading 導入に対する課題と対応」全学教育機構論集 大学教育研究 第4号，133-144.（2021年03月）

〔研究論文（大学，研究機関紀要）共著【査読あり】〕

「オンライン授業での英語プレゼンテーション実施に対する学修者の意識の変化と要因の分析」全学教育機構論集 グローバル教育研究 第4号，pp.73-92.（2021年3月）

#### 令和2年度における社会的活動，地域貢献など

##### ○ 社会貢献活動

放送大学茨城学習センター 英会話サークル サポート講師

##### ○ 学外教育

1. 〔非常勤講師〕「英語 III・IV」常磐大学
2. 〔非常勤講師〕「シンプルな英語を使いこなそう3」放送大学

#### 令和2年度における大学運営・機構運営業務

##### ○ 委員会業務

1. 入試関係業務

##### ○ 機構の業務等

1. 点検評価委員
2. PE クラス編成委員長
3. PE AE II コースコーディネータ

共通教育部門	氏名 菊池 武
--------	---------

職名	准教授
学位	英語教授法修士[コロンビア大学大学院ティーチャーズカレッジ]
学歴	立教大学 文学部 英米文学科[1984年03月卒業] コロンビア大学大学院 ティーチャーズカレッジ 英語教授法修士課程 修士課程[2003年02月卒業]
職歴	いわき明星大学 人文学部(2011年4月～2015年3月) 教養学部(2015年4月～2018年3月) 准教授(2011年4月～2018年3月) 獨協大学 外国語学部英語学科(2007年4月～2008年3月) 法学部総合政策学科(2008年4月～2011年3月) 特任講師(2007年4月～2011年3月) 獨協大学 非常勤講師(2006年4月～2007年3月) いわき明星大学 非常勤講師(2003年10月～2011年3月) 茨城大学 非常勤講師(2003年4月～2011年3月) 茨城県教育委員会 教諭(1984年4月～2003年3月)
所属学会	大学英語教育学会 全国語学教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)英語教育, 第二言語習得研究, 発音指導

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】
------	---

#### 令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]菊池 武「英語の発音学習に対するの大学生の意識の変化」, 茨城大学全学教育機構論集(大学教育研究), 4, 21-36. (2021年03月)</p>
---

#### 令和2年度における大学運営・機構運營業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 学術委員会委員</p> <p>2. 共通教育部門会議委員</p> <p>3. GEP 部会委員</p> <p>4. 入試関係業務委員</p>
---

5. 英語教育検討タスクフォース

○ 機構の業務等

1. プラクティカルイングリッシュ部会部会長

共通教育部門	氏名 小西 康文
--------	----------

職名	准教授
学位	博士(物理学)[京都産業大学]
学歴	京都産業大学大学院 理学研究科 物理学専攻 博士後期課程[2010年03月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2018年2月～) 茨城大学 大学教育センター 准教授(2015年2月～2018年1月) 埼玉大学大学院 理工学研究科 研究支援者(2011年4月～2015年1月) 京都産業大学 益川塾 自然科学系研究員(2010年4月～2011年3月)
所属学会	日本物理学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	大学初年次の物理や数学, データサイエンス関係の教育をおこなっている。また, 素粒子物理学における標準理論を超えた物理として, フレーバー領域を中心に研究をおこなっている。
	(キーワード) 素粒子, 現象論, 標準理論を超えた物理

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)力と運動【前期】, 微積分学【前期】, 微積分学入門【1Q】, 微積分学基礎【2Q】, 物質と生命【3Q】素粒子物理学における現象論Ⅰ, 技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門, 物質と生命【4Q】素粒子物理学における現象論Ⅱ, 技術と社会【4Q】AI・データサイエンス入門
学生支援・国際交流支援・特記事項	iOP チュートリアル(2020年10月～2020年11月)

#### 令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	<ol style="list-style-type: none"> <li>[(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]小西 康文「微分積分のオンライン授業に対するアンケート調査」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 4, 127-132. (2021年03月)</li> <li>[(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]「教育現場が直面している諸課題についての研究」, 東京懇談会 研究紀要, 3, 17-77. (2020年11月)</li> </ol>
----------	--

令和2年度における大学運営・機構運營業務

○ 機構の業務等

1. 全学教育機構昇進選考委員
2. 全学教育機構採用選考委員
3. 全学教育機構点検評価委員
4. 微積分学の統一授業の運営等 取りまとめ
5. 自然・環境・科学部会のFDの準備と実施 日程調整, 司会進行など
6. TOEIC 一斉テストに関する業務 集計および解析

共通教育部門	氏名 佐藤 伸也
--------	----------

職名	准教授
学位	DOCTOR of PHILOSOPHY[サセックス大学]
学歴	東京理科大学 理工学部 情報科学科[1996年03月卒業] 東京理科大学大学院 理工学研究科 情報科学専攻 修士課程[1998年03月修了] 東京理科大学大学院 理工学研究科 情報科学専攻 博士課程[2002年03月単位取得満期退学] サセックス大学大学院 エンジニアリング・インフォマティクス研究科 インフォマティクス専攻 博士課程[2015年05月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2017年4月～) 茨城大学 大学教育センター 准教授(2015年9月～2017年3月) サセックス大学 エンジニアリング・インフォマティクス研究科, インフォマティクス専攻 准チューター(2014年2月～2014年4月) 姫路獨協大学 経済情報学部 准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) 姫路獨協大学大学院 経済情報研究科 准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) ロンドン大学キングスカレッジ コンピュータサイエンス学部 客員研究員(2006年9月～2007年8月) 姫路獨協大学大学院 経済情報研究科 助教授(2005年4月～2007年3月) 姫路獨協大学 経済情報学部 助教授(2004年4月～2007年3月) 姫路獨協大学 経済情報学部 専任講師(2002年4月～2004年3月)
所属学会	Association for Computing Machinery
受賞歴	なし
学内兼務	IT 基盤センター・教育 IT 化推進部門 部門長
専門分野	情報学基礎理論 計算機システム ソフトウェア
教育研究概要	(キーワード)インタラクションネット プログラミング言語 形式手法 項(グラフ)書き換え系

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)情報リテラシー【前期】, 環境と人間【1Q】計算機科学への招待 II, 技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門, 環境と人間【4Q】計算機科学への招待, 技術と社会【4Q】AI・データサイエンス入門, 技術と社会【4Q】AI・データサイエンス基礎演習
------	--

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]山本一幸, 大瀧保広, 佐藤伸也, 畠田敏行, 野口宏, 羽瀧裕
----------	---



- 真, 外岡秀行「問合せデータの分散表現を用いた分類」, 学術情報処理研究, **24**, 1, 68-77. (2020年12月)
2. [研究論文(学術雑誌) 共著【査読あり】]大瀧保広, 畠田敏行, 山本一幸, 野口宏, 佐藤伸也, 外岡秀行, 羽瀧裕真「茨城大学における遠隔授業／テレワーク支援」, 学術情報処理研究, **24**, 1, 58-67. (2020年12月)

#### 令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

##### ○ 社会貢献活動

1. [セミナー・ワークショップ]「機械学習入門ハンズオン —転移学習から勾配ブースティングまで—」, 学習分析学会 卯木輝彦(株式会社フォトロン 研究開発センター長, 学習分析学理事) 佐藤伸也(茨城大学 准教授)(株式会社フォトロン 会議室 (東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング 21階)), [役割]: 講師, 助言・指導 [対象]: 社会人・一般

#### 令和2年度における大学運営・機構運営業務

##### ○ 委員会業務

1. 教務情報ポータルシステム専門委員会

##### ○ 機構の業務等

1. LMS manaba 運用チーム
2. 全学教育機構 共通教育部門 情報・数理・データサイエンス部会 部会長
3. 部局技術責任者
4. 基盤・教養科目事前申告抽選アプリの作成
5. 英語コミュニケーショントレーニング予約サイトの作成・管理・運用
6. ALC 用サーバー管理
7. IT 基盤センター 教育 IT 推進部門 部門長

共通教育部門	氏名 清水 恵美子
--------	-----------

職名	准教授
学位	修士(学術)[茨城大学] 博士(学術)[お茶の水女子大学]
学歴	茨城大学大学院 人文科学研究科 文化構造専攻 修士課程[2003年修了] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 国際日本学専攻 博士後期課程[2008年修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2018年4月～) 茨城大学 五浦美術文化研究所 所員(2015年11月～) 茨城大学 社会連携センター 准教授(2015年2月～2018年3月) お茶の水女子大学 生活科学部 学部教育研究協力員(2013年～2015年) お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション 特任リサーチフェロー(2011年～2012年) 国士舘大学 文学部 非常勤講師(2010年～2015年) 芝浦工業大学 工学部 非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学 生活科学部 非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター 客員研究員(2009年～2015年) お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 研究員(2008年～2011年) 茨城大学 人文学部・大学共通センター 非常勤講師(2006年～2015年)
所属学会	日本フェノロサ学会 日本比較文学会 明治美術学会
受賞歴	文化庁 平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)(2013年) いばらきデザインセレクション2017 知事選定「五浦コーヒーを媒介とした岡倉天心・五浦発信」(2017年11月)
学内兼務	五浦美術文化研究所・運営委員
専門分野	近代美術史 文学一般(比較文学比較文化) 日本史(近現代史)
教育研究概要	岡倉覚三(天心), 日本美術院, 岡倉由三郎, 日米印の美術交流に関する研究。岡倉覚三の思想と生涯の活動について, 晩年の五浦・ボストン往復時代を中心に, 美術史, 芸術思想史, 比較文学比較文化, 文化交流史, 近代日本史など多角的な領域から研究している。 (キーワード) 岡倉天心(覚三) 近代美術史 比較文学比較文化 文化交流史 芸術思想史

令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・分担執筆]清水恵美子「五浦を巡る岡倉覚三のヴィジョン」. 森田義之・小泉晋弥(編者)『新訂増補 岡倉天心と五浦』, 中央公論美術出版, 137-150. (2021年03月)</p> <p>2. [単行本(学術書)・分担執筆]Emiko Shimizu, “Kakuzō Okakura in cultural exchange between India and Japan: Dialogue with Swami Vivekananda and Rabindranath Tagore”, Madhu Bhalla ed., “<i>Culture as Power: Buddhist Heritage and the Indo-Japanese Dialogue</i>, Routledge, 49-68. (2020年12月)</p>
--

3. [(MISC)書評,文献紹介等単著【依頼/招待】]清水恵美子「岡倉天心消息の紹介(1)」,『江戸千家便覧ひととき草』137, 江戸千家連合不白会, 24-25. (2020年12月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 科学研究費補助金(科学研究費補助金 基盤研究(C))「世紀転換期から戦後の美術交流における新納忠之介の文化財保護活動に関する研究」(研究代表者)日本学術振興会(2018年度～2020年度)

○ 学術貢献活動

1. 「飯村丈三郎研究会」, [企画立案・運営等]

2. 「地方史研究協議会茨城大会実行委員」, [企画立案・運営等]

令和2年度における大学運営・機構運營業務

○ 機構の業務等

1. 全学教育機構 共通教育部会 地域志向教育プログラム部会

2. 五浦美術文化研究所運営委員

共通教育部門	氏名 シヤノン フレデリック
--------	----------------

職名	准教授
学位	博士[クイーンズランド大学] 修士[サザン・クイーンズランド大学] 学部[サイモンフレーザー大学] ケンブリッジ大学 英語教授法資格[ケンブリッジ大学]
学歴	クイーンズランド大学大学院 教育学部 教育 博士課程[2008年01月修了] サザン・クイーンズランド大学大学院 教育学部 言語学 修士課程[2004年07月修了] サイモンフレーザー大学 犯罪学部 犯罪学部[1996年07月卒業]
職歴	九州大学(2010年10月～2012年3月)
所属学会	
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	応用言語学
教育研究概要	<p>(研究経歴)</p> <p>私はこれまで数年間日本の大学レベルで外国語としての英語(EFL)を教えてまいりました。私の授業を通して学生たちが新しい言葉を学んだり、これまで知らなかったことを理解したりしてくれることに非常に喜びとやりがいを感じております。</p> <p>私は教員としてのキャリアの早期から、TESOLの学術分野と応用言語学について学び、教えることに魅力を感じてきました。また、学生たちの語学力を伸ばすために彼らをサポートすることに喜びを感じております。</p> <p>よりよい英語教師となることができるように、私はTESOL/応用言語学、教育学の分野で学位を取得しました。私は博士課程で英語専攻以外の学生を対象としたリスニング能力に重点を置いた語学教育について研究を行いました。</p> <p>応用言語学修士課程ではEFL学習者による言語習得方略の使用について研究しました。また、ケンブリッジのCELTA(Certificate of English Language Teaching to Adults)も取得しております。私は自分のキャリアを開発する決意をして、語学教育に関するスキルと知識の向上に努めてまいりました。日本で教える外国人教師の中でも英語教育の博士号を保持している人は非常に限られており、TESOL分野における私の学術的背景によって、大学の課程に積極的な貢献ができると信じております。</p> <p>さらに、私は大学レベルでの豊富な指導経験があります。学部および大学院の英語専攻と非英語専攻の学生たちに対して英語関連の指導を行ってまいりました。これまでに教えたことのあるコースとしては、(1)プレゼンテーションスキル、(2)アカデミックライティング、(3)TOEIC、(4)TEOFL、(5)リスニングスキル、(6)ショートフィクション(詩および短編小説)、(7)4スキル会話クラスなどがあります。</p> <p>加えて、大学のほか、短期大学、高等学校、民間の語学学校、企業(NEC、トヨタ、マイクロソフトなど)での指導経験も豊富です。また、学部教員陣容の一員として、研究および学術</p>

	<p>活動にも参加してまいりました。これまでの大学および学科では広報活動にも積極的に参加し、たとえば学生やスタッフが彼らの英語を練習し、フィードバックを得る機会である「English Corner」というミーティングを毎週開催したり、大学院生向けに「Writing Clinic」を毎週行い、ライティングの支援をしたりした経験があります。また、大学の体育祭やスピーチコンテスト、寸劇コンテストなどにも参加しました。また、通常の職員会議等にも出席し、英語専攻以外の学生向けのカリキュラム開発や教材の選択なども行いました。そして、大学の入学試験の作成や実施、採点作業の支援も行ってきました。</p> <p>私は日本語で学生やスタッフとコミュニケーションをとったり、一般的な業務を行ったりすることができます。</p> <p>このような理由から、私は大学での英語教員の職に適していると信じております。</p> <p>(キーワード) ナチュラルアプローチ、クラッシュエン、SLA モデル、情意フィルター、インタラクション仮説、インプット仮説、生得理論、言語習得装置、モニターモデル、ナチュラルアプローチ、相互交流仮説、インプット仮説、生得理論、意味交渉、最近接発達の領域 (ZPD)</p>
--	--

令和2年度における教育活動

<p>担当科目</p>	<p>(基盤科目) Advanced English IIIA【前期】、Integrated English IIA【前期】、Advanced English IIIC【前期】、English for Socializing【1Q】、Advanced English IIIB【後期】、Integrated English IIB【後期】</p> <p>(専門科目) English Seminar for Intercultural Communication IV、英語圏の文化と社会 II</p>
-------------	---

共通教育部門	氏名 シュミット ロナルド
--------	---------------

職名	准教授
学位	D.Ed.[University of South Africa] M.Ed.[University of Manchester] B.Ed.[University of Toronto] B.F.A.[York University (Toronto)]
学歴	University of South Africa Didactics 博士課程[2014年10月] Humber College Audio-Visual Production, Television[1986年卒業] York University 芸術工学部[1991年卒業] University of Toronto 教育学部[1993年卒業] University of Manchester 大学院 English Language Teaching Master of Education in English Language Teaching (M.Ed. ELT). 修士課程[2000年修了]
職歴	2017-2021 Tokiwa University. Part-time English lecturer. 2005 - present. Ibaraki University. Full-time Associate Professor. 2000 - 2005 Josai University. Full-time English lecturer. 1997 - 1999 Kyohei Senior High School. English teacher. 1995 - 1997 Honjo Daiichi Senior High School. English teacher. 1994 - 1995 Misugi Junior High School. Assistant English teacher.
所属学会	JALT
受賞歴	Best Presentation of Chiba JALT 2003(2004年)
学内兼務	なし
専門分野	English language pedagogy
教育研究概要	(研究経歴) I am currently conducting research in the following areas: Nonverbal communication, interpersonal competence, intonation and pronunciation.  Intercultural communication, interpersonal competence, multiple intelligences theory in second language education, space in visual art, nonverbal communication. interpersonal competence, intonation and pronunciation  (キーワード) 異文化コミュニケーション 個人教育 視覚文化 コンピュータ支援型言語学習 英語教育

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目) Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English III C【前期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】, Academic Writing【3Q】, Studying Abroad【4Q】  (専門科目) English Seminar for Intercultural Communication III
------	--

学生支援・国際交流支援・特記事項	I helped prepare students for study abroad programs.
------------------	--

令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [教科書・共著]Ronald Schmidt-Fajlik Pramith Perera"Grammar Practice: Advanced Level", Independent. (2020年11月)</li> <li>2. [教科書・共著]Ronald Schmidt-Fajlik Pramith Perera"Grammar Practice: Intermediate Level", Independent. (2020年11月)</li> <li>3. [教科書・共著]Ronald-Schmidt-Fajlik Pramith Perera"English Grammar Practice: Elementary", Independent. (2020年11月)</li> <li>4. [教科書・共著]Ronald Schmidt-Fajlik Pramith Perera"English Grammar Practice: Beginner Level", Independent. (2020年11月)</li> <li>5. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Ronald Schmidt-Fajlik"Foreign Language Reading Anxiety and Mindfulness", The Language Teacher (Japan Association for Language Teaching) , <b>44</b>, 4, 3-11. (2020年06月)</li> </ol>
---

令和2年度における社会的活動，地域貢献など

<p>○ 社会貢献活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Created Youtube videos to teach English.</li> </ol> <p>○ 学外教育</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. -Part-time English teacher at Tokiwa University -Created online education videos</li> </ol>
---

令和2年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Helped create and inspected the English entrance exam.</li> </ol>
--

共通教育部門	氏名 関友作
--------	--------

職名	准教授
学位	博士(学術)[東京工業大学]
学歴	一橋大学 社会学部 社会理論課程（社会言語学）[1987年卒業] 東京工業大学大学院大学院 総合理工学研究科 システム科学専攻 博士課程[1996年修了]
職歴	日本鉱業 株式会社(現・ENEOS(株)) (1987年4月～1990年3月)
所属学会	日本教育工学会 教育システム情報学会 ヒューマンインタフェース学会 日本認知科学会
受賞歴	なし
学内兼務	IT 基盤センター・教育 IT 化推進部門
専門分野	教育工学 認知科学
教育研究概要	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書情報の理解 (紙・電子文書)

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)情報リテラシー【前期】 (専門科目)情報編集法【18P・17P 対象】/情報編集法/情報編集法【16P 以前入学者対象】、データ解析法、卒業研究【16P 以前入学者対象】 (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ【2Q】、認知学習心理学
------	---

#### 令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

○ 学外教育	1. [非常勤講師]「茨城キリスト教大学「学校図書館メディアの構成」講義」, 30 時間, 90 名出席, 茨城キリスト教大学 2. [非常勤講師]「水戸市医師会看護専門学院「論理学」講義」, 30 時間, 40 名出席, 水戸市医師会看護専門学院 3. [非常勤講師]「茨城キリスト教大学「情報メディアの活用」講義」, 30 時間, 90 名出席, 茨城キリスト教大学
--------	---

#### 令和2年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務	1. 遠隔授業タスクフォース委員 2. 教務情報ポータルシステム専門委員会
---------	--



共通教育部門	氏名 山崎 大
--------	---------

職名	准教授
学位	修士(理学)[東京大学] 博士(理学)[東京大学]
学歴	東京大学大学院 理学系研究科 天文学専攻 博士課程[2007年03月修了]
職歴	2004年4月～2006年3月 国立天文台リサーチ・アシスタント 2006年4月～2007年3月 日本学術振興会特別研究員(DC2) 2007年4月～2008年3月 日本学術振興会特別研究員(PD) 2008年4月～2009年3月 国立天文台研究支援員 2009年4月～2011年3月 Postdoctoral Fellow, Academia Sinica, Institute of Astronomy and Astrophysics (Republic of China) 2011年4月～2014年3月 国立天文台研究員 2014年4月～2015年2月 千葉工業大学学習支援センター学習支援員（専任講師相当） 2014年4月～2021年3月 国立天文台特別客員研究員 2015年2月～2017年3月 茨城大学 大学教育センター 准教授 2017年4月～2021年3月 茨城大学 全学教育機構 准教授（所属部署の名称変更）
所属学会	Japan SKA Consortium 日本天文学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	1.「研究」 初期宇宙の物理過程に対する原初磁場の影響を研究。特に、相対論的宇宙論と電磁流体力学に対応した、原初磁場の空間分布を数値的に計算するプログラムを開発し、統計的な手法を駆使し、宇宙背景放射と物質密度場に対する原初磁場の影響に関する研究の発展に貢献してきた。最近では、観測事実をもとに理論モデルを検証する観測的宇宙論の手法により、原初磁場を考慮したビッグバン元素合成やダークマター候補となるX粒子探索等の素粒子論・原子核理論に関連する研究も行っている。 2.「教育」 物理学と数学の授業について、その成績と授業出席について統計的に調査し、その結果を反映した基礎教育改善のための授業計画の立案、教材・板書ノート・教科書作成、および試験問題作成を行う。また、学習相談の専用窓口で、多くの学生の学習相談に対応しつつ、より多くの学生が気兼ねなく学習相談できる環境の改善を推進してきた。 (キーワード)宇宙論 宇宙背景放射 原初磁場 大規模構造形成 ビッグバン元素合成

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)微積分学【前期】, 力学入門【1Q】, 力学基礎【2Q】, 力と運動【後期】, 物質と生命【3Q】宇宙論史 I, 技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門, 物質と生命【4Q】宇宙論史 II, 技術と社会【4Q】AI・データサイエンス入門
学生支援・国際交流支援・特記事項	1. 「力学入門/基礎」用の on demand 教材の開発と活用(予習復習用) 2. 「力と運動」用の on demand 教材の開発と活用(予習復習用) 3. 「微積分学」用の on demand 教材の開発と活用(予習復習用)

令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【筆頭著者】]山崎大「遠隔教育における試験の在り方」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究(茨城大学全学教育機構), <b>4</b>, 75-82. (2021年03月)</p> <p>2. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Mathews, G. J.; Kedia, A.; Sasankan, N.; Kusakabe, M.; Luo, Y.; Kajino, T.; Yamazaki, D.; Makki, T.; El Eid, M. "Cosmological solutions of the lithium problem", Memorie della Societa Astronomica Italiana, <b>91</b>, 29. (2020年06月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・共同] 山崎大(茨城大学, 国立天文台), 日下部元彦(北京航空航天大学), 梶野敏貴(国立天文台, 北京航空航天大学)「ビッグバンから宇宙の晴れ上がりまでの連続性を考慮したパラメータ制限」[日本天文学会2020年秋季年会・・・](2020年09月)</p>
---

令和2年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 全学教育機構 共通教育部門 自然・環境・科学部会 部会長</p> <p>2. 全学教育機構 人事委員会 委員</p> <p>3. 令和元年度 後期 科学の基礎および自然環境と人間 FD 主催</p> <p>4. 令和2年度 前期 科学の基礎および自然環境と人間 FD 主催</p> <p>5. 令和3年度 自然環境と人間, 科学の基礎 科目 シラバスチェック(令和3年度科目のシラバス)</p> <p>○ 機構の業務等</p> <p>1. 茨城大学数理解析への「微分積分の基礎」編集委員会 委員</p> <p>2. 茨城大学 力学教科書編集委員会 委員長</p> <p>3. 統一授業「微積分学」運営業務</p> <p>4. 統一授業「力と運動」運営業務</p> <p>5. 微分積分の基礎テスト作成協力</p> <p>6. 力学の基礎テスト作成・採点・クラス分け</p>
---

共通教育部門	氏名 大津 理香
--------	----------

職名	講師
学位	文芸学修士[共立女子大学] Master of Science in TESOL[California State University, Fullerton]
学歴	共立女子大学大学院文芸学研究科 1998/03/31 修了 California State University, Fullerton, Humanities and Social Sciences 2011/05/27 修了
職歴	常磐大学国際学部助教 2013/04/01-2015/03/31 いわき明星大学(現医療創生大学)教養学部准教授 2015/04/01-2018/03/31
所属学会	日本英語教育英学会 The Japan Association for Language Teaching (JALT) Teachers of Speakers of Other Languages (TESOL)
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	英語教育
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学習者の「やる気」「学習時間」「学びやすい環境」を大事に授業内外で教育支援を実施。</li> <li>・英語学習者の英語力向上のために、1) 授業中の活動を教師だけではなく学生同士で評価することの効果, 2) 英語再履修者の削減, 3) 学生による英語絵本の読み聞かせが学生自身に与える影響, 4) 短期語学留学の効果, についての研究をこれまで実施。</li> </ul>
	(キーワード) 動機付け, ピアレビュー, 英語絵本, 短期語学留学

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	[前期] Integrated English IIA, Advanced English IIA, Advanced English IIIA [後期] Integrated English IIB, Advanced English IIB, Advanced English IIIB
------	---

#### 令和2年度における研究活動

<p>○ 学会発表等</p> <p>“Motivating English learners through the voluntary reading of English picture books to children –the influence upon university student volunteer readers–”. JALT Ibaraki Chapter meeting on Zoom. September 19<sup>th</sup>, 2020.</p>
--

共通教育部門	氏名 大森 真
--------	---------

職名	講師
学位	第二言語研究 修士[ハワイ大学 マノア校]
学歴	ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 第二言語研究 修士課程[2006年12月修了] ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 第二言語研究 博士課程[2012年コース課程修了後休学]
職歴	国立大学法人 茨城大学 全学教育機構 英語専任講師(常勤)(2017年4月～) 国立大学法人 茨城大学 大学教育センター 英語専任講師(常勤)(2014年4月～2017年3月) 非営利団体 アジア太平洋交流センター(Center for Asia Pacific Exchange; ハワイ大学と提携し、ハワイ州政府に帰属する教育系非営利団体) 講師兼カリキュラム専門家(2011年6月～2012年8月) ハワイ大学マノア校 第二言語研究学科 非常勤講師 [担当講座] 第二言語習得論 第二言語教授法 第二言語教授法一読解と作文 第二言語教授法一聴解と会話(2007年8月～2012年5月) ハワイ大学マノア校 English Language Institute リスニング・スピーキングセクション主任講師 (Lead Teacher)(非常勤)(2007年1月～2007年5月) ハワイ大学マノア校 English Language Institute 非常勤講師 リスニング・スピーキングセクション(中級・上級)担当(学部生・大学院生対象)(2006年1月～2006年12月)
所属学会	一般社団法人 大学英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	英語教育
教育研究概要	[教育] 1. 「TOEIC 企画運営」[運営委員長] 2. 「IE III コーディネーター」 3. 「英語学習相談」 4. 「入試採点」 [教育実践研究プロジェクト] 1. 「オンライン授業での英語プレゼンテーション実施に対する学修者の意識の変化と要因の分析」 上記研究では、学修者のオンライン発表に対する意識の変化と、その要因を分析した。つまり、学修者が、遠隔での準備、練習、発表、相互評価に関して感じている利点や困難、意欲や不安と、各自のIT環境とスキル、遠隔教育の経験、自律的学修習慣の影響について、アンケート調査によって検証した。

	<p>2. 「共通シラバス英語科目に於ける質保証と学修支援への取り組み(2):英語プレゼンテーションに於ける「流暢さ」と「発音, 韻律」の評価に関するルーブリックの提示と学修者の意識への影響」</p> <p>自身がカリキュラム作成・運営し, 且つ授業を担当している Integrated English III において, プレゼンテーションとエッセイの詳細なルーブリックの開発と学生への公表による学修への意識の変化を調査してきた。上記論文では, 英語プレゼンテーションに於ける「流暢さ」と「発音, 韻律」の評価に関するルーブリックの提示と学修者の意識への影響を調査した。</p> <p>(キーワード) 英語教授法, オンラインプレゼンテーション, ルーブリック</p>
--	---

### 令和2年度における教育活動

<p>担当科目</p>	<p>(基盤科目) Integrated English IIIA【前期】, Advanced English IIIA【前期】, Integrated English IIIB【後期】, Advanced English IIIB【後期】</p>
-------------	--

### 令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり・筆頭著者】] 大森真, 沼田世里, 上田敦子, 矢嶋敬紘「オンライン授業での英語プレゼンテーション実施に対する学修者の意識の変化と要因の分析」, 茨城大学全学教育機構論集「グローバル教育研究」第4号, . (2021年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【筆頭著者】] 大森真, 沼田世里, 上田敦子, 矢嶋敬紘「共通シラバス英語科目に於ける質保証と学修支援への取り組み(2):英語プレゼンテーションに於ける「流暢さ」と「発音, 韻律」の評価に関するルーブリックの提示と学修者の意識への影響」, 茨城大学全学教育機構論集「大学教育研究」第4号, . (2021年03月)</p>
--

共通教育部門	氏名 佐々木 友美
--------	-----------

職名	講師
学位	修士[University of Hawaii at Manoa]
学歴	国際基督教大学 教養学部 語学科[2000年03月卒業] University of Hawaii at Manoa Department of Second Language Studies English as a Second Language 修士課程[2003年05月修了] 上智大学大学院 外国語研究科 言語学専攻 博士後期課程[2011年03月中退]
職歴	茨城大学 全学教育機構 講師(2017年4月～) 茨城大学 人文学部 講師(2015年10月～2017年3月) マーケティング・リサーチ企業 定性調査部門, リサーチコンサルティング部門 リサーチャー, シニアリサーチャー(2011年9月～2015年9月) 亜細亜大学 経営学部 専任講師(2009年4月～2011年3月) 防衛大学校 総合教育学群外国語教育室 助教(2007年10月～2009年3月) 青山学院大学 経営学部 兼任講師(2005年4月～2007年9月) 立教大学 全学共通カリキュラム 兼任講師(2004年4月～2007年9月) 多摩大学 経営情報学部 非常勤講師(2003年4月～2005年3月)
所属学会	大学教育学会 大学英語教育学会 International Society for Cultural and Activity Research (ISCAR)
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) Second/foreign language education, Language socialization, Sociocultural theory, Qualitative research

令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【筆頭著者】] 佐々木友美・上田敦子「統一シラバス科目における Pleasure Reading 導入に対する課題と対応」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 4, 133-144. (2021年03月)</p>
--

共通教育部門	氏名 鈴木 聡子
--------	----------

職名	講師
学位	博士[Temple University, Japan Campus] 修士[Temple University, Japan Campus]
学歴	Temple University, Japan Campus Graduate College of Education Curriculum, Instruction, and Technology 博士課程[2017年05月修了]
職歴	青山学院大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 文教大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 日本大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 文教大学非常勤講師(2009年4月～2016年3月) テンプル大学ジャパンキャンパス生涯教育プログラム非常勤講師(2009年9月～2011年4月) 青山学院大学非常勤講師(2007年4月～2016年3月)
所属学会	外国語教育メディア学会(LET) 全国英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) Global Englishes, 発音, 音読, シャドーイング, リスニング, スピーキング, タスク, 自律学習

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English III A【前期】【日立開講】, Integrated English II A【前期】, Advanced English III A【前期】【日立開講】, Advanced English III A【前期】, Advanced English II A【前期】【阿見開講】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English III B【後期】【日立開講】, Advanced English II B【後期】, Advanced English III B【後期】【阿見開講】
学生支援・国際交流支援・特記事項	英語学習相談室(年度不詳)

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]“Exploration of Task Evaluation, Engagement, and Vocabulary Acquisition of a One-Semester Extensive Reading”, 茨城大学全学教育機構論集大学教育研究, 4, 65-74. (2021年03月)
----------	---

2. [研究論文(学術雑誌) 共著【査読あり】]Yo Hamada & Satoko Suzuki”Listening to Global Englishes: Script-assisted shadowing”, International Journal of Applied Linguistics, **31**, 1, 31-47. (2020年10月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・単独] “Vocabulary acquisition through extensive listening”[JALT 2020 online, 46th Annual International Conference on Language Teaching and Learning••](2020年11月)



共通教育部門	氏名 館 深雪
--------	---------

職名	講師
学位	教育学部英語教育学科学士[ボブ・ジョーンズ大学] 教育学研究科修士課程心理教育学修士[ボブ・ジョーンズ大学大学院] アーツ・サイエンス研究科修士課程心理教育学専攻言語教育修士[国際基督教大学]
学歴	ボブ・ジョーンズ大学 教育学部 英語教育学科[1998年05月卒業] ボブ・ジョーンズ大学大学院 カウンセリング科 修士課程[2000年05月修了] 国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科修士課程 心理教育学専攻言語教育 修士課程[2015年03月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 講師(2015年2月～) 株式会社ゼウス・エンタープライズ バイリンガル・コーディネーター課 課長(2008年9月～2013年3月) Calvary Christian Academy(北マリアナ諸島サイパン島) 英語教師(中等部, 高等部)(2000年8月～2007年7月)
所属学会	Japan Association for Language Teaching, 全国英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	言語教育, 英語教育, TESL
教育研究概要	コミュニケーション意欲の調査, 大学英語教育及び企業英語使用現場にて取り入れるための方法における研究 (キーワード) コミュニケーション意欲, 企業英語

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)Integrated English IIIA【前期】, Advanced English IIIA【前期】, Bilingualism【1Q】, Integrated English IIIB【後期】, Advanced English IIIB【後期】, Integrated English IIIB【後期】, 人間とコミュニケーション【3Q】Cross-cultural Understanding: Japan and America, 人間とコミュニケーション【4Q】【阿見開講】Cross-cultural Understanding: Japan and America
------	---

令和2年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 機構の業務等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学教育機構予算・施設委員</li> <li>2. PE 英語学修支援チーフ</li> <li>3. PE TOEIC 企画副担当</li> <li>4. GEP 部会員</li> </ol>
--

5. Practical English 部会員

6. PE Advanced English III コーディネーター

共通教育部門	氏名 大山 廉
--------	---------

職名	助教
学位	文学修士[東北学院大学大学院] 文学博士[東北学院大学大学院]
学歴	東北学院大学 文学部 英文学科[2013年03月卒業] 東北学院大学大学院 文学研究科 英語英文学専攻 応用言語学・英語教育学専修 博士前期課程[2015年03月修了] 東北学院大学大学院 文学研究科 英語英文学専攻 応用言語学・英語教育学専修 博士後期課程[2020年03月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 助教(2019年4月～) 東北学院大学 非常勤講師(2018年4月～2019年3月) 山形県立新庄北高等学校 非常勤講師(2015年4月～2016年3月) 東北学院榴ヶ岡高等学校 非常勤講師(2014年4月～2019年3月)
所属学会	日本第二言語習得学会 大学英語教育学会 Asia TEFL 東北英語教育学会 全国英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)教室における第二言語習得, 英語教育学

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English III A【前期】【日立開講】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】
------	---

令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり・筆頭著者】]Ren Oyama”The effects of affective input enhancement on second language development in Japanese university students”, The Journal of Asia TEFL (Asia TEFL), 17, 1, 1-17. (2020年04月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・単独]「インプット内容の情意処理が日本人大学生のテキスト理解と語彙, 文法の学習に与える効果」[第20回日本第二言語習得学会国際年次大会 (J-SLA2020)・・・](2021年03月)</p> <p>2. [口頭発表(一般)・単独] 大山廉「大学共通英語科目におけるオンデマンド型授業の実践」[第7回東北英語教育研究フォーラム・・・](2021年03月)</p>
---

○ 学術貢献活動

1. 『ことばの科学研究』(第 22 号) 論文査読担当(ことばの科学会)

令和2年度における大学運営・機構運營業務

○ 機構の業務等

1. TOEIC 実施委員

学生支援部門	氏名 小磯 重隆
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(法学)[筑波大学]
学歴	金沢大学大学院 社会環境科学研究科(博士後期課程)[2004年10月中退]
職歴	JUKI株式会社 工業用ミシン事業部縫製能率研究所(1987.4～1999.3) 雇用促進事業団(独立行政法人雇用・能力開発機構)(1999.4～2004.10) 国立大学法人弘前大学 教育推進機構キャリアセンター准教授(2004.11～2016.6) 国立大学法人茨城大学 全学教育機構キャリアセンター准教授(2016.7～現在)
所属学会	日本キャリア教育学会 日本職業教育学会 日本労働法学会 日本キャリアデザイン学会
受賞歴	日本学術振興会「科研費」審査委員 表彰(2016年)
学内兼務	なし
専門分野	社会法学(労働法) 社会学(職業能力開発) 教育社会学(キャリア教育)
教育研究概要	キャリア教育を中心に労働法及びアクティブラーニングの観点から若年者雇用問題を研究している。「多人数アクティブラーニング実践モデルの研究」では、固定式の机とイスで実践可能なキャリア教育を研究している。「若年者の職場定着に関する研究～職業教育を通じて」では、若者が「仕事を楽しめる能力」を身に付ける研究を行った。他に、地方創生(COCプラス)、男女共同参画推進の活動を行っている。「大学に求められるキャリア教育とは何か」弘前大学 21世紀教育センター、「地方創生と学生の地元就職」弘前大学教養教育実践開発センターなど。 (キーワード)キャリア教育, 労働法, 職業能力開発, 男女共同参画, 地方創生

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)ライフデザイン-社会と私(P1/P2:教育学部)/ライフデザイン-社会と私(A:農学部)/ライフデザイン-社会と私(T1/T2/T3:工学部), 公共社会-仕事を考える(Q2/Q4), 公共社会-キャリアデザイン論,
学生支援・国際交流支援・特記事項	[部局教育改善]「茨城大学 FD days」への参加(2020年12月) [部局教育改善]「遠隔授業/テレワークに関するFD」への参加(2020年11月) Web 就職ガイダンス「就職ガイダンス<就活準備編>」①②(2020年6月/7月) Web 就職ガイダンス「インターンシップの参加を考える」(2020年6月) Web 就職ガイダンス「インターンシップ&就職ガイダンスI」(2020年6月) Web 就職ガイダンス「夏休みの過ごし方講座」(2020年7月) Web 就職ガイダンス「動画選考準備講座」(2020年7月) Web 就職ガイダンス「公務員ガイダンス」①②(2020年10月) Web 就職ガイダンス「自己分析」①②(2020年10月)③④(2020年11月) Web 就職ガイダンス「就職活動の流れ」①②③(2020年10月) Web 就職ガイダンス「スタートアップ Ver.1/2/3」①②(2020年10月/11月12月) Web 就職ガイダンス「業界・企業研究」①②(2020年11月)

<p>Web 就職ガイダンス「内定者報告会」①②(2020年12月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「履歴書・ES」①②(2020年12月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「SPI対策」①②(2020年12月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「筆記試験対策」①②(2020年12月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「履歴書・エントリーシート」①②(2021年1月)</p> <p>就活継続セミナー①②/③(留学生向け)(2021年1月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「就活マナー講座」①②(2021年1月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「企業研究・求人票の見方」①②(2021年1月)</p> <p>合同企業説明会活用講座①②③(2021年2月)</p> <p>Web 就職ガイダンス「面接・集団討論」①②(2021年2月)</p> <p>公務員試験合格者報告会(2021年2月)</p>
--

### 令和2年度における研究活動

#### ○ 著書・論文等

「留学生の日本での就職とキャリア教育の課題」茨城大学全学教育機構論集グローバル教育第4号(P61～71)2021年

### 令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

#### ○ 学外委員等

1. 「みと好文カレッジ運営審議会(委員)」水戸市教育委員会
2. 「水戸市男女平等参画センター運営委員会(委員)」水戸市市民協働部

#### ○ 学外教育

1. [非常勤講師]「キャリアデザイン A/B(留学生クラス)尚美学園大学」

### 令和2年度における大学運営・機構運營業務

#### ○ 機構の業務等

1. 全学教育機構人事委員会
2. 全学教育機構学生支援部門会議

学生支援部門	氏名 矢嶋 敬紘
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	早稲田大学 人間科学部[卒業] 茨城大学大学院 教育学研究科 修士課程[修了]
職歴	
所属学会	日本心理臨床学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	社会福祉学 臨床心理学
教育研究概要	障害等のある学生支援 学生相談に関わる臨床心理的研究 学生のボランティア活動に関わる実践教育
	(キーワード) 障害者福祉, 臨床心理学, 学生相談, パーソナリティ, カウンセリング

#### 令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)健康の科学 【1Q】心の健康科学, 人間とコミュニケーション【1Q】バリアフリー・アクセシビリティ支援入門, 人間とコミュニケーション【2Q】カウンセリング心理学入門, 公共社会【1Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【2Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【3Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【4Q】多様性社会に関わるボランティア活動
------	--

#### 令和2年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>[研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]大森真,沼田世里,上田敦子,矢嶋敬紘「共通シラバス英語科目に於ける質保証と学修支援への取り組み(2):英語プレゼンテーションに於ける「流暢さ」と「発音, 韻律」の評価に関するルーブリックの提示と学修者の意識への影響」茨城大学全学教育機構論集大学教育研究(茨城大学全学教育機構)4, 1-20. (2021年03月)</p> <p>[MISC(その他記事)共著]矢嶋敬紘,沼田世里,上地勝,西川陽子「いきいき茨城ゆめ大会選手団サポートボランティアの育成と代替ボランティア活動に関する実践報告」茨城大学全学教育機構論集大学教育研究(茨城大学全学教育機構)4, 145-156. (2021年03月)</p> <p>[研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]大森真,沼田世里,上田敦子,矢嶋敬紘「オンライン授業での英語プレゼンテーション実施に対する学修者の意識の変化と要因の分析」茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構)4, 73-92. (2021年03月)</p>
--

## 令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

### ○ 学外委員等

1. 茨城県公認心理師協会, 理事 副会長
2. いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム 障害学生支援委員会, 副委員長

## 令和2年度における大学運営・機構運營業務

### ○ 委員会業務

1. 全学教育機構学術委員会, 委員
2. 全学教育機構学生支援部門会議, 委員
3. 全学教育機構バリアフリー推進会議, 委員 障害学生修学支援員
4. 全学教育機構バリアフリー推進会議合理的配慮検討WG, 委員
5. 全学教育機構学生生活支援部会, 委員 学生相談員

### ○ 機構の業務等

1. 障害等のある学生支援業務
2. 学生相談業務
3. バリアフリー推進室(水戸キャンパス, 日立キャンパス, 阿見キャンパス)運營業務
4. なんでも相談室(水戸キャンパス, 日立キャンパス, 阿見キャンパス)運營業務
5. ピアサポーター育成・運營業務



国際教育部門	氏名 安 龍洙
--------	---------

職名	教授
学位	博士(文学)[東北大学]
学歴	東北大学大学院 文学研究科 言語科学専攻 博士後期課程[2000年修了]
職歴	茨城大学留学生センター助教授(2003年4月～2008年3月) 茨城大学留学生センター教授(2008年4月～2017年3月) 茨城大学全学教育機構教授(2017年4月～)
所属学会	国立大学留学生指導研究協議会 アジア・ヨーロッパ未来学会 日本語教育学会 第二言語習得研究会 韓国日本近代学会
受賞歴	なし
学内兼務	茨城大学・教育研究評議会 評議員 全学教育機構・大学教育領域長
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本社会における異文化理解の変容に関する事例研究 日本社会における外国人(①ニューカマー②オールドカマー③その他)と日本人(①外国人との接触頻度の高い日本人②外国人との接触頻度の低い日本人③その他)の異文化理解のあり方及びその変容について PAC分析法を用いて認知的・情意的な観点から探っている。 (キーワード) 異文化理解, PAC分析法, 外国人と日本人の相互理解, 質的研究

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)学術日本語Ⅰ【前期】学術日本語Ⅰ(総合), 日本語教育概論【前期】, 日本語教授法演習(海外)【前期】, 日本語教授法演習【後期】, 茨城学【2Q, 3Q】, 思想・文学【4Q】 日本語を考える(日本語の諸相), 多文化共生【通年】短期海外研修Ⅰ(韓国オンライン), 多文化共生【通年】短期海外研修Ⅱ(韓国オンライン) (大学院科目)日本語表現法Ⅰ
------	--

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	<p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]石鍋 浩, 安 龍洙「介護専攻学生の専門領域学習観に関する PAC分析を用いた質的検討—留学生と日本人学生の比較—」, 東大阪大学・東大阪短期大学部教育研究紀要, 18, 27-40. (2021年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]安龍洙「韓国人留学生はアルバイトを通して日本をどう理解しているか」, グローバル教育研究, 4, 27-38. (2021年03月)</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]青木 香代子, 安 龍洙「東南アジア交換留学生のアルバイトを通じてみた日本」, グローバル教育研究, 4, 15-26. (2021年03月)</p> <p>4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]石鍋 浩, 安 龍洙「日本在住留学生の異文化適応に関する PAC分析を用いた質的研究」, グローバル教育研究, 4, 47-60. (2021年03月)</p>
----------	---

<p>5. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり・最終著者】]松田 勇一, 安 龍洙「インドネシア出身留学生は日本でのアルバイトを通して日本をどう捉えているか」, グローバル教育研究, 4, 155-168. (2021年03月)</p> <p>6. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり】]高柳 有希, 安 龍洙「COVID-19が韓国留学中の日本人学生の留学生活に及ぼす影響の一考察」, グローバル教育研究, 4, 107-118. (2021年03月)</p> <p>7. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著]安龍洙「欧米出身留学生の日本のサブカルチャー観について」, グローバル教育研究, 3, 1-12. (2020年03月)</p> <p>8. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]青木香代子・安龍洙「日本人交換留学生の韓国に対するイメージとその変化」, グローバル教育研究, 3, 13-28. (2020年03月)</p> <p>9. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]高柳有希・安龍洙「日本人韓国留学生は韓国のサブカルチャーを通して韓国をどう捉えているか」, グローバル教育研究, 3, 135-144. (2020年03月)</p> <p>10. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]松田勇一・安龍洙「日本人交換留学生は海外への交換留学をどのようにとらえているか」, グローバル教育研究, 3, 81-98. (2020年03月)</p> <p>11. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著]石鍋浩・安龍洙・高柳有希「韓国に長期滞在する日本人による韓国観の態度構造:PAC分析を用いた研究」, グローバル教育研究, 3, 53-65. (2020年03月)</p> <p>○ 競争的資金 共同・受託研究</p> <p>1. [科学研究費助成事業]科学研究費補助金 基盤研究(C)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」(研究代表者)(2017年度～2021年度)</p>
---

令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

<p>○ 学外委員等</p> <p>1. 「アジア・ヨーロッパ未来学会」理事</p> <p>2. 「鹿児島大学 大学の世界展開力強化事業外部評価委員会」委員長</p> <p>3. 「国立大学留学生指導研究協議会」代表幹事</p>
--

令和2年度における大学運営・機構運營業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 教育研究評議会 評議員</p> <p>2. 環境報告書作成ワーキンググループ 委員</p> <p>3. 教員業績評価制度検討ワーキンググループ 委員</p> <p>4. 全学教育機構人事委員会 委員長</p> <p>○ 機構の業務等</p> <p>1. 人事委員会業務(採用人事3件, 昇進人事2件)</p> <p>2. 全学教育機構年俸制適用教員の業績評価</p>
--

国際教育部門	氏名 池田 庸子
--------	----------

職名	教授
学位	修士[ペンシルバニア州立大学]
学歴	ペンシルバニア州立大学大学院 比較文学科 比較文学 修士課程[1993年修了]
職歴	茨城大学留学生センター教授(2010年4月～) 茨城大学留学生センター助教授(2002年4月～2010年3月) 関西外国語大学助教授(1998年4月～2002年3月) 関西外国語大学専任講師(1993年9月～1998年3月) ペンシルバニア州立大学 TA(1991年9月～1993年8月) イースタンニューメキシコ大学 TA(1990年9月～1991年5月)
所属学会	全米日本語教育学会 日本語教育学会 日本語教育方法研究会 留学生教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本語教育, 教材開発, 文学教育,
要	(キーワード)日本語教育, 教材開発, 多読,

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)日本語教授法Ⅱ【前期】, 日本語教授法演習(海外)【前期】, 学術日本語ⅡA【後期】学術日本語ⅡA(応用), 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅰ(スペインオンライン), 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅱ(スペインオンライン), 日本語教授法演習【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	海外留学相談

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等
1. [教科書・共著]坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子「初級日本語 げんきⅡワークブック第3版」, ジャパンタイムズ出版. (2020年10月)
2. [教科書・共著]坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子「初級日本語 げんきⅡ第3版」, ジャパンタイムズ出版. (2020年10月)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり・筆頭著者】]池田庸子・岩見晴子・田中麻美・長田奈都子「日本語教師養成授業と米国の夏期集中日本語コースにおける遠隔授業交流の試み」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), 4, 169-181. (2021年03月)
4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]池田庸子「読書が苦手な学習者の語りからみた多読授業の効果と影響」, 茨城大学全学教育機構グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), 4, 39-46. (2021年03月)

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・単独] 池田庸子「多読支援のための授業活動と創作プロジェクト」[国際シンポジウム日本語教育における多読・速読の理論と実践—多読と速読で読みの流暢さを伸ばそう！—](2021年03月)
2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・単独] 池田庸子「日本語教授法クラスと海外の日本語クラスを繋ぐ試み—ペンシルバニア州立大学(米国)との授業交流」[コロナ禍のグローバル教育を考える～茨城大学の挑戦～・茨城大学グローバル教育センター主催シンポジウム・](2021年03月)
3. [口頭発表(一般)・共同] Seo, Masaki, Ikeda, Yoko, Aoki, Kayoko "International Exchange Activities after COVID-19"[JALT 2020 46th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition・JALT・](2020年11月)
4. [ポスター発表・共同] 八若壽美子, 池田庸子, Widianti SUSI「インドネシアの理系大学教員のライフストーリーに見る留学評価」[全学語学教育学会海外留学 SIG Online Conference・・](2020年09月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. [科学研究費助成事業] 科学研究費補助金 基盤研究(c) 19K00729「日本語読教育における多読教材の分析と学習者及び教師の意識変容に関する研究」(研究代表者)(2019年度～2021年度)

令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

○ 学外委員等

1. 「公益財団法人水戸市国際交流協会」評議員

○ 学外教育

『げんき』第3版オンライン説明会(第1回)[ジャパンタイムズ, 米国紀伊国屋]2020年08月

『げんき』第3版オンライン説明会(第2回)[ジャパンタイムズ, 米国紀伊国屋]2020年08月

『げんき』第3版オンライン説明会 [ジャパンタイムズ出版, オーストラリア紀伊国屋書店]2020年09月

令和2年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務

1. 学長特別補佐(国際教育担当)
2. 国際交流委員会委員
3. AIMS 運営委員会委員長
4. 中央学生委員会委員
5. 全学教育機構学生支援部門『学生支援協力員』学生相談員

○ 機構の業務等

1. 全学教育機構国際教育部門長(グローバル教育センターセンター長)

国際教育部門	氏名 八若 壽美子
--------	-----------

職名	教授
学位	修士(人文科学)[お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 比較文化学 博士後期課程[2003年単位取得満期退学] お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程日本語文化専攻修了(1997年)
職歴	茨城大学 全学教育機構 教授(2017年4月～) 茨城大学留学生センター教授(2006年4月～2017年3月) 茨城大学留学生センター助教授(2001年9月～2006年3月) 立命館アジア太平洋大学専任講師(2000年9月～2001年8月)
所属学会	ヨーロッパ日本語教師会 日本語文化学会 日本語教育学会
受賞歴	平成14年度茨城大学教育研究開発センター推奨授業表彰「総合科目社会国際系科目「日本事情I」」(2003年03月)
学内兼務	なし
専門分野	日本語教育
教育研究概要	1.教育概要: 日本語教育 2.研究概要: 日本語学習者に対する作文指導に関する研究, 自律的言語学習に関する研究 (キーワード)外国語(第二言語)としての日本語教育, 日本語学習者に対する作文指導, 自律的言語学習, 言語学習環境, 留学評価

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)学術日本語ⅡB【前期】学術日本語ⅡB(アカデミック・ライティング), 多文化社会と日本語教育【前期】, 日本語教授法演習【後期】, 思想・文学【3Q】日本語を考える(日本語文法), 思想・文学【4Q】日本語を考える(日本語の諸相) 日本語レベル3 総合【前期】, 日本語レベル4 口頭表現【前期・後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	新入学部留学生面談

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり・筆頭著者】]八若壽美子, Susi Widianti「元留学生の日本留学評価 —インドネシアの大学教員の場合—」, 全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), 4, 137-153. (2021年03月) 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著【査読あり・筆頭著者】]八若壽美子 小林英弘「タイの日系企業で働く元交換留学生の留学評価—翻訳・通訳業務従事者の場合—」, 全学教育機構論集グローバル教育研
----------	---

究(茨城大学全学教育機構), 4, 119-136. (2021年03月)

3. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著]八若壽美子「タイの日系企業で働く元交換留学生の留学評価 ―留学期間による比較―」, 2020年度日本語教育学会秋季大会予稿集, 364-369. (2020年11月)

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・単独] 八若壽美子「タイの日系企業で働く元交換留学生の留学評価 ―留学期間による比較―」[2020年度日本語教育学会秋季大会・日本語教育学会・日本(オンライン)](2020年11月)

2. [ポスター発表・共同] 八若壽美子, 池田庸子, Widiyanti Susi「インドネシアの理系大学教員のライフストーリーに見る日本留学評価」[JALT Study Abroad SIG Online Conference 2020・JALT・茨城大学 オンライン](2020年09月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

[科学研究費助成事業]基盤研究(C)「元留学生の留学評価と日本語学習との関連に関する実証的研究(研究代表者)(2017年度～2021年度)

○ 学術貢献活動

シンポジウム「コロナ禍のグローバル教育を考える～茨城大学の挑戦～」コーディネータ

令和2年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. ダイバーシティ推進委員会委員
2. 全学教育機構学術委員会委員
3. 日本語教育プログラム部会委員
4. 就職・キャリアコーディネータ

○ 機構の業務等

1. グローバル教育センター主任
2. チューター指導

国際教育部門	氏名 瀬尾 匡輝
--------	----------

職名	准教授
学位	学士(第二言語としての英語教授法)[ハワイパシフィック大学] 副専攻(社会科学)[ハワイパシフィック大学] 学士(宗教学)[ハワイ大学マノア校] 修士(第二言語研究)[ハワイ大学マノア校] 博士(言語学)[上智大学]
学歴	ハワイパシフィック大学 国際学部[2005年05月卒業] ハワイ大学マノア校 人文学部 宗教学科[2006年08月卒業] ハワイ大学マノア校大学院 第二言語研究学科 修士課程[2008年12月修了] 上智大学大学院 外国語学研究科 言語学専攻 博士課程[2014年03月単位取得満期退学]
職歴	茨城大学 全学教育機構国際教育部門 准教授(2019年4月～) 茨城大学 全学教育機構国際教育部門 講師(2017年4月～2019年3月) 茨城大学 留学生センター 講師(2015年4月～2017年3月) 香港理工大学 人文学院中文及雙語学系 専任講師(2012年1月～2015年3月) 香港大学專業進修学院 助理講師(2009年9月～2011年12月) 香港大学專業進修学院 非常勤講師(2009年1月～2009年8月) ハワイパシフィック大学 非常勤講師(2008年1月～2009年1月) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 教務主任(2007年～2008年) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 夏季日本語教師(2005年～2006年)
所属学会	海外日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会 日本教師教育学会 日本教育工学会 国立大学留学生指導研究協議会 開発教育協会 国際理解教育学会 異文化間教育学会 日本質的心理学会 日本教育社会学会 言語文化教育研究学会 日本語教育方法研究会 カナダ日本語教育振興会 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会 全国語学教育学会 香港日本語教育研究会 日本語教育学会
受賞歴	The Patricia A. Williams Prize in Education(2005年)
学内兼務	農学部・附属国際フィールド農学センター 協力教員
専門分野	日本語教育 外国語教育 教育社会学
教育研究概要	言語教育(特に日本語教育), 教育社会学を専門としている。これまで海外を拠点に研究を行ってきたため, 海外における日本語教育のあり方についての批判的な検討を学習者と教師の視点から試みてきた。学習者の視点 学習者の動機や動機減退要因を調査していくなかで, 余暇活動と消費としての日本語学習の存在を明らかにした。その上で, 学習者の視点に立った実践研究を行っている。教師の視点 海外で働く教師達にインタビューを行った結果から, 教師達の対立や孤立感を浮き彫りにした。そして, 海外で働く教師のためのオンラインコミュニティを立ち上げ, 企画・運営した結果を実践研究という形で報告している。

	(キーワード)外国語/第二言語としての日本語教育(JSL/JFL), 批判的応用言語学, 第二言語習得研究のJSL/JFLへの応用(e.g. タスク中心教授法, 内容中心教授法), グローバリゼーションと言語教育, 実践研究, 質的研究, 批判的教育
--	---

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)多文化共生【前期】【水戸開講】短期海外研修Ⅰ(ブルネイオンライン), 多文化共生【前期】【水戸開講】短期海外研修Ⅱ(ブルネイオンライン), 人間とコミュニケーション【1Q】Japanese Pop Culture A, 人間とコミュニケーション【2Q】Japanese Pop Culture B, 日本語教授法Ⅰ【後期】, 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅰ(マレーシアオンライン), 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅱ(マレーシアオンライン), 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅰ(ベトナムオンライン), 多文化共生【後期】短期海外研修Ⅱ(ベトナムオンライン), 日本語教授法演習【後期】, Studies in Particular Fields【3Q】, Studies in Contemporary Japan【4Q】, (日本語研修コース)レベル4(総合)【前期】【後期】, (阿見キャンパス日本語補習授業)初級日本語Ⅱ【前期】, 初級日本語Ⅳ【前期】, アカデミックジャパニーズ【前期】, サバイバル日本語【前期】, 初級日本語Ⅲ【後期】, 初級日本語Ⅳ【後期】, サバイバル日本語【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	<p>[国際交流支援]ペンシルバニア州立大学の学生とのオンライン授業交流(連携協定あり)(2020年5月～7月)</p> <p>[国際交流支援]ミシガン州立大学の学生とのオンライン授業交流(連携協定なし)(2020年10月～12月)</p> <p>[国際交流協定]ウィスコンシン大学スペリオル校の学生とのオンライン授業交流(連携協定あり)(2020年10月～11月)</p> <p>[国際交流支援]ハイフォン大学の学生とのオンライン授業交流(連携協定なし)(2020年11月～2021年2月)</p> <p>[国際交流支援]ブルネイオンライン短期海外研修への学生派遣(連携協定あり)(2020年8月)</p> <p>[国際交流支援]マレーシアオンライン短期海外研修への学生派遣(連携協定あり)(2021年3月)</p> <p>[国際交流支援]ベトナムオンライン短期海外研修への学生派遣(連携協定なし)(2021年3月)</p> <p>[国際化・連携]茨城大学 令和2年度教育改革推進経費「オンラインによる国際交流活動の活性化」(2020年9月～2021年2月)</p> <p>[その他特記]日本学生支援機構 令和2年度海外留学支援制度(協定派遣)学生交流創成タイプ(タイプB)「東南アジアの大学生との相互理解を目指した海外派遣プログラム」(2020年8月～2020年9月)</p> <p>[その他特記]九州大学 博士論文調査委員(2020年3月～7月)</p>



令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]瀬尾匡輝「文化を批判的に教える—久保田(2008;2011)の4Dアプローチをもとにした実践」, 大学日本語教員養成課程研究協議会論集, 19, 16-30. (2021年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]瀬尾匡輝「台風19号災害支援ボランティアに参加した学生の参加の目的と経験—留学生と日本人学生の比較から」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 4, 93-105. (2021年03月)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]瀬尾匡輝「ブルネイ短期海外研修に参加した学生のレポートを電子書籍で出版する—事前・事後学習としてのレポート作成」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 4, 193-203. (2021年03月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]瀬尾匡輝「自分たちの悩みを自分たちで解決するプロジェクト活動—留学生が抱える問題の解決策を考え, 大学の担当者に働きかける」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 4, 183-192. (2021年03月)
5. [研究論文(学術雑誌)単著【筆頭著者】]瀬尾匡輝「言語文化教育研究会研究集会のこれまで—私と研究会との関わりからふりかえる」, 言語文化教育研究, 18, 213-232. (2020年12月)

○ 学会発表等

1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・単独・招待有]「オンラインを駆使して「探究的」に日本語教育を学ぶ—ミシガン州立大学(米国)との授業交流」[茨城大学 グローバル教育センター主催シンポジウム コロナ禍のグローバル教育を考える～茨城大学の挑戦～・オンライン](2021年03月)
2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・共同・招待有] 瀬尾匡輝・有森丈太郎・瀬尾悠希子・橋本拓郎・古屋憲章「あらためて日本語教師の役割を考える」[韓国語日文学会 2020年度冬季学術大会・韓国語日文学会・韓国・ソウル・オンライン](2020年12月)
3. [口頭発表(招待・特別)・共同・招待有] 瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「『日本語教師の履歴書』にみる日本語教育者の役割意識とその構築・更新に影響を与えた経験」[韓国語日文学会 2020年度冬季学術大会・韓国語日文学会・韓国・ソウル・オンライン](2020年12月)
4. [口頭発表(一般)・共同] Masaki Seo, Yoko Ikeda, & Kayoko Aoki "International Exchange Activities after COVID-19[JALT 2020 46th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition・Japan Association for Language Teaching・Online](2020年11月)
5. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「ポストコロナにおける日本留学の意義—日本に入国・再入国できない留学生へのインタビュー調査から」[南アジア日本語教育国際シンポジウム・インド・ハイデラバード/英語外国語大学(EFLU)日本語学科, 国際交流基金ニューデリー日本文化センター・オンライン](2020年11月)
6. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「オンラインによる新しい海外留学の可能性—コロナ後のブルネイ短期語学・文化研修プログラムの実践から」[JALT Study Abroad SIG Online Conference 2020・JALT Study Abroad SIG・Online](2020年09月)
7. [ポスター発表・単独] 瀬尾匡輝「災害支援ボランティアに参加した留学生の声 —参加の目的と経験」[異文化間教育学会第41回大会・オンライン](2020年06月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. [令和2年度 茨城大学地域研究・地域連携プロジェクト]「地域の国際化を考える」(研究代表者)茨城大学社会連携センター(2020年度～2020年度)
2. [科学研究費助成事業]若手研究 20K13129「言語教育の商品化による格差の是正を目指した実証研究—公平性と言語間の比較を通して」(研究代表者)日本学術振興会(2020年度～2023年度)

○ 学術貢献活動

1. 「言語文化教育研究学会第8回研究集会」, 言語文化教育研究学会[企画立案・運営等]
2. 「JALT Study Abroad SIG Online Conference 2020」, JALT Study Abroad SIG・茨城大学グローバル教育センター[企画立案・運営等, 審査・評価, 査読]

令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

○ 社会貢献活動

1. [その他]「令和2年度茨城大学と連携協定自治体との実務者間意見交換会 分科会「国際交流・多文化共生」におけるファシリテーター」 [役割]: 運営参加・支援 [対象]: 行政機関
2. 「阿見町国際交流協会 ホームステイ委員会委員長」 [役割]: 運営参加・支援

○ 学外委員等

1. 「韓国日語日文学会」編集委員
2. 「国立大学留学生指導研究協議会」地区幹事
3. 「日本語教育学会」審査・運営協力員
4. 「言語文化教育研究学会」研究集会実行副委員長
5. 「全国語学教育学会 分野別研究部会 海外留学」企画委員長
6. 「日本語教育学会」国際連携委員会委員
7. 「言語文化教育研究学会」理事

○ 学外教育

1. [公開講座]「多文化理解パートナー育成講座～茨城の多文化共生を考える～」, 2時間, 150名出席, 茨城大学
2. [その他]「ボランティア日本語講師養成講座(茨城大学地域連携共催事業)」, 10時間, 10名出席, 阿見町国際交流協会

令和2年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 日本語教育プログラム部会
2. グローバル英語教育プログラム部会
3. 英語教育検討タスクフォース

○ 機構の業務等

1. 阿見・日立日本語補習授業 コーディネーター
2. 阿見キャンパス留学交流室チューターの支援
3. グローバル教育センターホームページ及び Facebook ページの管理
4. 阿見町国際交流協会との連携事業の促進

5. 阿見キャンパスの留学生家族の生活支援

国際教育部門	氏名 青木 香代子
--------	-----------

職名	講師
学位	教育学博士[サンフランシスコ大学大学院]
学歴	サンフランシスコ大学大学院大学院 教育学部 国際・多文化教育 博士課程[2008年05月修了]
職歴	中央大学 文学部事務室 嘱託職員(2013年2月～2017年3月) 国際教養大学 非常勤講師(2012年6月～2012年7月) 桑港学園日本語学校 講師(2008年9月～2012年3月)
所属学会	日本教育社会学会 日本国際理解教育学会 日本移民学会 日本オーラル・ヒストリー学会 Comparative and International Education Society 異文化間教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	教育学
教育研究概要	多文化教育, 異文化間教育学, 批判的教育学, 社会正義のための教育などを中心に, 近年は日本人性や人種差別をはじめとする抑圧と特権性に焦点を当てた社会正義のための教育実践開発を研究しています。 (キーワード)多文化教育 異文化間教育 国際理解教育 批判的教育学

令和2年度における教育活動

担当科目	(基盤科目)多文化社会と日本語教育【前期】, 学術日本語 I 【後期】学術日本語 I (応用), 日本語教授法演習【後期】, グローバル・スタディーズ【3Q】Diversity and Social Issues in Japan A, 多文化共生【3Q】多文化共生, グローバル・スタディーズ【4Q】Diversity and Social Issues in Japan B, 多文化共生【4Q】多文化共生, 多文化共生【通年】【水戸開講】短期海外研修 I (オーストラリアオンライン), 多文化共生【通年】【水戸開講】短期海外研修 II (オーストラリアオンライン) (日本語研修コース)レベル 3 総合 A【前期】日本事情 A【前期】, 日本事情 B【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	iOP チュートリアル「人種問題について考えよう」(2020年10月～2020年11月) 日本語教授法演習(後期)において, ウィスコンシン大学スペリオル校での教育実習指導を担当した。

令和2年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]「アメリカ高等教育における社会正義のための教育の実践と課題」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), 4, 1-14. (2021年03月) 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり・筆頭著者】]「東南アジア交換留学生のアルバイトを通じてみた日本」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), 4, 15-25.
----------	---

(2021年03月)

3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]「大学における社会正義のための教育にむけた試みー特権性と抑圧の理解の授業実践を通してー」異文化間教育, 52, 102-119. (2020年08月)

○ 学会発表等

1. [公開講演・単独・招待有]「茨城大学のオンライン日本語教育実習の概要」[コロナ禍のグローバル教育を考える～茨城大学の挑戦～・茨城大学グローバル教育センター・] (2021年03月)

2. [口頭発表(一般)・共同] Masaki Seo, Yoko Ikeda, Kayoko Aoki "International Exchange Activities after COVID-19[JALT 2020 46th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition] (2020年11月)

3. [ポスター発表・単独]「アメリカの社会問題を考える海外体験学習を通じた学生の学びー社会正義のための教育の視点からー」[JALT Study Abroad SIG Online Conference 2020・The Japan Association for Language Teaching (JALT)] (2020年09月)

4. [口頭発表(一般)・単独]「アメリカ高等教育における社会正義のための教育の実践と課題」[異文化間教育学会第41回大会] (2020年06月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 科学研究費補助金 基盤研究(C)(一般)課題番号 19K02470「社会正義のための多文化教育のプログラム開発と実践」(研究代表者) (2019年度～2020年度)

2. 科学研究費補助金 基盤研究(C)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」(研究分担者) (2017年度～2020年度)

令和2年度における社会的活動, 地域貢献など

○ 学外委員等

1. 「異文化間教育学会」若手交流委員会